

花吹雪つづく道

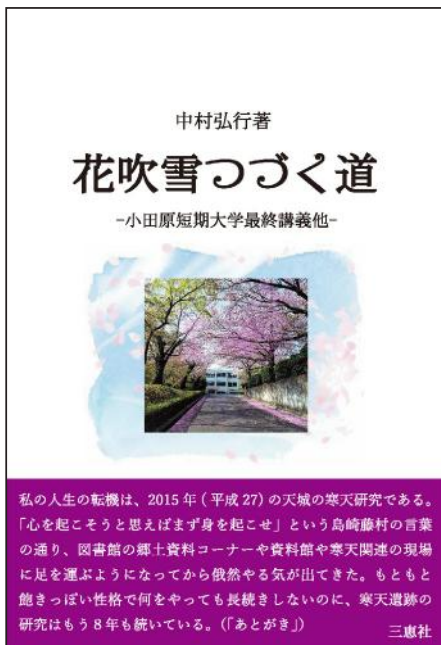
-小田原短期大学最終講義他-

中村弘行著

本書は2017年2月に行なった小田原短期大学の最終講義にエッセイ等を加えて編集したものである。最終講義のメインは「天城の寒天」である。天城山には、石川さゆりの「天城越え」に歌われた寒天橋をはじめ、寒天林道、寒天歩道、寒天車道と寒天の名が付く地名が多数ある。それは、明治初期に天城山で寒天が作られていたためである。伊豆のテングサを他国に売のではなく、地元で寒天に加工する画期的な事業であったが、わずか6年で姿を消した。明治新政府の政策に翻弄された地場産業の栄枯盛衰を解き明かす。

◆目次

- I 最終講義 (2017年2月)
回顧 大学生活47年
小田原短期大学での33年間 思い出ベスト10
天城の寒天
- II エッセイ
友達教育論
謎かけと共に
カシワ飯と伊勢たくわん
納豆
恵那市の寒天列車
樺太寒天の真実
- III その他
〈インタビュー〉学生歌「二歳の」はこうして誕生した
〈レシピ〉ヘルシー簡単寒天料理
〈講演〉小田原と北原白秋
〈模擬授業〉きんぴらはなぜきんぴら？



私の人生の転機は、2015年(平成27)の天城の寒天研究である。「心を起こそうと思えばまず身を起こせ」という島崎藤村の言葉の通り、図書館の郷土資料コーナーや資料館や寒天関連の現場に足を運ぶようになってから俄然やる気が出てきた。もともと飽きっぽい性格で何をやっても長続きしないのに、寒天遺跡の研究はもう8年も続いている。(「あとがき」) 三恵社

◆著者紹介

中村 弘行 (なかむら ひろゆき)

- 1952年 三重県生まれ。
外城田小学校、玉城中学校、伊勢高校を経て、東京教育大学教育学部教育学科入学。同大学大学院修士課程教育学研究科、筑波大学大学院博士課程教育学研究科にて学ぶ。
- 1983年 小田原女子短期大学非常勤講師
1984年 小田原女子短期大学家政学科専任講師、バレー部顧問・監督
1987年 創立30周年、校歌制定、『小田原女子短期大学30年史』刊行
1992年 家政学科助教授
2006年 食物栄養学科に改称(入学定員60名)、食物栄養学科教授に。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	中村弘行[著] 花吹雪つづく道 -小田原短期大学最終講義他- 206頁 / 四六判 / ソフトカバー 定価 1,800円(税別) ISBN978-4-86693-653-6 C0095
ご注文は、JRCへ FAX:03-3294-2177(TEL:03-5283-2230) 株式会社JRC経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		